

開講科目名 / Course	コミュニケーション論	
ターム・学期 / Term・Semester	2024年度 / Academic Year 1 学期 / First	
開講区分 / semester offered	1 学期 / First	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	1	
主担当教員 / Main Instructor	関根 剛	
担当教員名 / Instructor	関根 剛	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
授業回数	8	
科目の目的と概要	情報を「受信し」「理解し」「発信する」という視点からコミュニケーションを理解することを目的とする。情報の「受信」は「行動観察」、「理解」は「グループエクササイズ」、「発信」は「プレゼンテーション・スキル」で取り扱う。更に、「コミュニケーション」「プロセスレコード」で受信・理解・発信の流れを、「文化」で個別性、「リーダーシップ」で集団との関わり方について理解する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションが受信、理解、発信で成り立つことを説明できること。 2. 自分が感じたり考えたりしていることに興味を持ち、言葉で表現できること。 3. 自分と異なる他者の価値観や知識、考え方の違いを列挙できること。 4. 自分の考えを効果的な方法を用いて行えること。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心豊かな人間性・倫理観、 3. 看護の基盤となる専門知識・技能、 4. 連携協働・リーダーシップ、 5. 地域性・国際性 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. オリエンテーション：文化とコミュニケーション 02. グループ・エクササイズ：自己理解 03. プレゼンテーション・スキル（1）：情報の発信 04. プレゼンテーション・スキル（2）：人前で話す 05. 行動観察：情報の受信 06. コミュニケーション：報告・指示・依頼、受信・理解・発信 07. プロセスレコード：情報の受信・理解・発信の流れを理解する 08. リーダーシップとメンバーシップ：集団における役割 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・グループエクササイズやプレゼンテーションを通じて、体験的に自己理解を深める。 ・演習や話し合いを通じて、他者との違いに気づき、それを共有する機会を持つ。 ・前回の学習の疑問点などについて、回答をする時間を持つ。 ・毎回の知識確認テストや任意のミニレポートの機会を持つ。 	
時間外学修	<ul style="list-style-type: none"> ・講義と関連する情報や資料を提供し精読・視聴することを促す（11h）。 ・日常生活におけるコミュニケーション経験のレポートで、講義内容の深化を図る（11h）。 	
評価方法と評価割合	毎回の知識確認テスト・小レポート6割、総合レポート4割。	
テキスト	テキストは使用せず、毎回、ハンドアウトを配布する。	
参考書	対人援助の現場で使える 聴く・伝える・共感する技術 便利帖（翔泳社）	
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	関根剛：臨床心理士、電話相談SV
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	カウンセリングの実践、相談員育成の教育研修に携わっており、これから対人援助職となる学生の自己理解のグループワークやコミュニケーションスキルを効果的に行う。	